

撰時抄

御文①

御書新版……160ページ 1行目
御書全集……256ページ 1行目

夫れ、仏法を学せん法は、
必ずまず時をならうべし。

現代語訳①

仏法を学ぶ方途について
言えば、必ず最初に
「時」について学ばなければ
ならない。

御文②

御書新版……161ページ 3行目～6行目
御書全集……256ページ 11行目～13行目

一念三千は九界即仏界・仏界即
九界と談ず。されば、この経の一
字は如意宝珠なり。一句は諸仏の
種子となる。これらは、機の熟・
不熟はさておきぬ、時の至れるゆ
えなり。経に云わく「今正しくこ
れその時なり。決定して大乘を説
く」等云々。

現代語訳②

一念三千の法門では「九界がそのまま仏界であり、仏界がそのまま九界である」と説く。それ故、一念三千の法門を明かしたこの法華経の一字は如意宝珠である。その一句は仏たちを生み出す種子となる。このような法門が説かれたのは、衆生の機根が熟したか否かとは無関係に、時が来たからである。法華経に「今、まさにその時である。必ず大乘を説く」（方便品）とある。